

Osaka Metro まちさんぽ

長堀鶴見緑地線 京橋駅

京街道・網島

京橋駅
90分
コース

京街道から近松の名作『心中天の網島』の舞台へ

豊臣秀吉が、大坂城築城と並行して、大坂と京を直結する陸路を整備しました。大坂の出发点は大坂城京橋口で、淀川の堤防に沿って伏見に至る京街道です。京橋駅から大坂城京橋口まで京街道の形跡を訪ね、さらに網島に向かいます。



スタート駅	約 90 分											ゴール駅
長堀鶴見緑地線 京橋駅 ④号出口	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	長堀鶴見緑地線 京橋駅
	京橋延命子安地藏	道標	京街道	二人地藏	鯉江川跡	のだばし址	行者堂	京橋川魚市場跡	川崎渡し跡	藤田邸跡公園	大長寺	

近松門左衛門の『心中天の網島』は、シェイクスピア悲劇に匹敵する作品といわれますが、実際の心中現場が昔の大長寺境内の森です。京街道から大川をたどって現場を訪ね、現在の長寺まで足を伸ばします。

新型コロナウイルス 感染拡大防止のために
 ●体調が優れない場合のご参加はお控えください。 ●マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。
 ●混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお参加ください。

京橋駅

90分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

長堀鶴見緑地線 京橋駅

京街道・網島

京街道から近松の名作『心中天の網島』の舞台へ

豊臣秀吉が、大坂城築城と並行して、大坂と京を直結する陸路を整備しました。大坂の出发点は大坂城京橋口で、淀川の堤防に沿って伏見に至る京街道です。京橋駅から大阪城京橋口まで京街道の形跡を訪ね、さらに網島に向かいます。

スタート駅

約 90 分

ゴール駅

長堀鶴見緑地線京橋駅④号出口

長堀鶴見緑地線京橋駅

1 京橋 延命子安地蔵

京橋公園の中に延命子安地蔵があります。由緒書きには文化年間(1804~18)と書かれています。街道沿いの集落内の地蔵だったと思われるのですが、何度か移転しています。



2 道標

京阪モールの向かいに文政9年(1826)の道標があります。京街道と古堤街道との分岐点にあつたらしく「右 大和 ならのさぎ / 左 京みち」「右 大坂 / 左 京みち」と書かれています。古堤街道はすぐそばの鯉江川に沿って野崎観音詣でをした古街道です。



3 京街道

京街道は大坂城京橋口(のちに高麗橋)を起点として、大坂から京へ向かう主街道です。京橋口からは現在の土佐堀通を直行して京阪モールの抜け、JR環状線のガード下から新京橋商店街を通って守口、枚方から京都へ向かっていました。

大坂大絵図：元禄9年(1696) 国立国会図書館ウェブサイトより



4 二人地蔵

地元の住民が建立した地蔵で、右側が交通事故の身代わり地蔵、左側が厄除けの護り地蔵です。身代わり地蔵は京橋大空襲の際に出現し、のちに事故で大破した自動車の運転手が無傷で、代わりに地蔵の首が飛散していたと由緒書きにあります。身代わり地蔵に感謝した住民がまちの安寧を祈念して護り地蔵を奉納したそうです。口紅をさして祀られているのが印象的です。



5 鯉江川跡

京街道より一筋南の道は鯉江川跡です。鯉江川は、北河内の井路川を集めて寝屋川に並行して流れ、天満橋付近で大川に注いでいました。川幅が30mもあったようで、鯉が多くいたといわれています。野崎詣では船で鯉江川をさかのぼって寝屋川へ出て野崎観音へ向かいました。鯉江川は昭和5年(1930)寝屋川の改修に伴って埋め立てられました。

6 のだばし址 7 行者堂



京街道で鯉江川に架かっていた橋が野田橋です。野田橋も幕府にとって重要な公儀橋でした。野田橋の北に行者堂の祠があります。灯笼に地藏菩薩、行者大菩薩、理源大師とあり、山岳修行の修験道を再興したといわれる理源大師を祀っているので行者堂になったのでしょう。京街道を往く修験者の姿が目につかびます。「のだばし の さかのほとりの なむぢぞう われをたのめど たすけたまうぞ」と扁額にあります。



8 京橋・京橋川魚市場跡

最初の京街道の起点で、南詰めは大坂城の虎口(出入口)があり、橋長が100mほどの公儀橋でした。橋のたもとに川魚市場跡の碑があります。雑喉場の生魚市場、永代浜の干鰯・塩干魚市場とともに大坂の3大魚市場でした。石山本願寺の頃に漁民が集まって魚を販売したことがはじまりです。



9 川崎橋・川崎渡し跡

江戸時代、対岸の川崎には徳川家康を祀る川崎東照宮が建てられ、幕府役人宅や諸藩の蔵屋敷があり、船で渡って京橋口から登城しました。明治10年(1877)に私設橋が架橋され、通行料として1人3厘をとりました。



10 藤田邸跡公園 (『心中天の網島』舞台)

明治の財閥・藤田伝三郎の本邸庭園だったところで、それ以前は大長寺の境内でした。正面の門は大長寺の山門と伝えられています。近松門左衛門の最高傑作『心中天の網島』で紙屋治兵衛と遊女・小春が、大長寺で回向説法を聞いたあとに心中したのがこの場所です。二人は北新地から天満橋を南へ、京橋を北へ渡って大長寺にたどり着きました。



11 大長寺(治兵衛・小春の比翼塚)

大長寺は、明治時代にたびたび起こった淀川の洪水で莫大な被害を受けたために、敷地を藤田伝三郎に譲渡して現在の地に移りました。境内に大長寺が吊った治兵衛・小春の比翼塚があります。お寺にお願いすると二人の直筆の遺書を拝観できます。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2021年5月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または [大阪あそ歩](#) で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室内に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄

